

東広島市子ども・子育て会議合同部会（第2回）における委員意見

● 第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画（案）に対する意見について

ブックデビュー講座について（親の子育て力の強化）

【七木田部会長】

○パブリックコメントを受けて「ブックデビュー事業は乳児のことばを育てるもの」と明記することは、子育てをしている人に、まずは言葉を覚えさせなければとプレッシャーを与えるのではないのか。

○妊娠期からのことばがけとは、絵本を題材にしたスキンシップなどを目的としていて、絵本はあくまでも手段である。計画の修正案は本を読むことが目的になっているように感じる。

○「幼児のことばを支援」というよりは、「親子の言葉を支援する」と言った方が目的は明確ではないか。発達にはことばだけでなく、運動とか他にもいろいろあるのに、本だけを取り上げるのは、違和感を覚える。

【東間部会員】

○修正案のとおり「親の子育て力」を示すと、これから子育てしようとする親はプレッシャーを感じると思う。親の立場からすると計画のことばが唐突すぎて、違和感を覚えるのではないか。もうすこし寄り添った表現にしてはどうか。

○妊娠期からのことばかけは、お母さんたちからも、「何と声をかけたらいいかわからない。」と聞く。子育てに対して、未来像ばかり考えているお母さんが多いが、現実はそうではないということはどう伝えたらいいのか。親の子育て力とうたっていいのか。

【岡部会員】

○ブックデビュー事業の内容は理解いただいていると思うが、計画の表記が問題なのではと思う。計画案では、親子の触れ合いという点が伝わってこない。

【七木田部会長】

○ブックデビュー講座は良い取り組みで、これ自体に反対ではない。「子育て力の強化＝(イコール)ブックデビュー」のように見えることに疑問を感じている。

幼児教育・保育の無償化の影響について

【七木田部会長】

○県の会議で、無償化の影響で、各施設、幼稚園等で子どもが流動していると聞いた。計画段階で、人数の増減があつて変更しているところもある。この計画で、無償化の影響を反映しているところはあるか。

【難波部会長】

○現場としては、ニーズに合わせて子どもを預かるスペースを拡充し、保育士を増やさなければならない。保育士不足もあり、ニーズに応えられるか、かなりきわどいのではないと感じている。市でも就職セミナー等しているが、なかなか実態が伴わず、打開策がないと、現場は厳しい。

○無償化の影響を実態把握し、きめ細かい対応が欲しい。1号認定の子どもが多くなる傾向がどのような状況か、1号の子どもが標準時間に変更したり、預かり保育を利用したりする。その対応を

どうするか、検討が必要である。

【七木田部会長】

○県の子ども・子育て会議に御菌宇幼稚園の先生が出席されていたが、御菌宇幼稚園では子どもが激減とのことだった。公私のバランスが崩れている。市内には公立幼稚園が2園あり、公が持つべき機能もあると思うが、公立幼稚園の今後についてはどう考えているのか。

外国につながる子どもと家庭への支援について

【難波委員】

○自分の施設にも、外国につながる子どもが何人もいる。保護者がどんな状況かによって、対応する支援者・保育者の対応のやり方もちがう。きめ細かく対応する必要があるので、もっと具体的な実態把握がいるのでは。各施設の実態を細かく把握してはどうか。保護者の状況の把握もいる。ことばや食べ物の把握は基本的にしておくべきである。

【七木田部会長】

○小学校のガイドブックはあるが、保育所幼稚園版は無いのか。

【本條委員】

○どちらかというとも未就学児の親の方が困っていると思う。保護者に、ガイドブックなどで情報を伝える必要あると考える。未就学児に対するケアを進める必要があると思う。

【加戸委員】

○いきいきで入会の説明時、日本語の名前であるが日本語が分からないという人がいた。そのときは日本語がわかる人を一緒に来てもらって説明をした。未就学児の段階での取組みはやはり必要だと思う。

【七木田部会長】

○発達障害の子どもに、外国の子も最近増えていると聞く。子どもより保護者が子育ての日本の様式を理解していない。着替えや持ち物など理解していない。保護者にどの言語で伝えたらいいかもわからない、という実態もあるようだ。小学校、中学校で日本語を獲得している兄弟がいると助かることもある。学校で日本語をしっかり教えることも大切だと思う。

保育人材の確保（ICT 活用）について

【難波部会長】

○ICTをどう使いこなすかなど、きめ細かく対応してもらえると、施設側も対応しやすい。行政と施設が連携できればと思う。情報が流れてくる仕組みが大切である。関係者で検討するような形があってもいい。

教育・保育の質の向上について

【難波部会長】

○保育の質については、研修で保育者の質を高めることが大切。研修の中身を検討して、公開して研修を広げていくとか、わざわざ広島まで行かなくてもいいように、市で研修を具体的にプログラムして、ここでキャリアアップできるように、実現してもらいたい。